

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2021年度支部活動報告（2022年5月22日総会用）

支部名		実施した通信訓練の概要(右参照)				<table><tr><th>(A)</th><th>(B)</th><th>(C)</th><th>(D)</th></tr><tr><td>地域防災拠点数 (A)</td><td>(A) のうち通信訓練実施の拠点数</td><td>のべ訓練回数</td><td>のべ動員人数 (区役所局含む)</td></tr></table>	(A)	(B)	(C)	(D)	地域防災拠点数 (A)	(A) のうち通信訓練実施の拠点数	のべ訓練回数	のべ動員人数 (区役所局含む)	その他活動・報告事項など
		(A)	(B)	(C)	(D)										
		地域防災拠点数 (A)	(A) のうち通信訓練実施の拠点数	のべ訓練回数	のべ動員人数 (区役所局含む)										
(A)	(B)	(C)	(D)												
(A)	(B)	(C)	(D)												
1	鶴見	31	0	0	0	コロナ禍により直接的な活動は行わず 鶴見川コンテスト（11/7）主催による市内近郊の各局への伝搬確認の機会提供にとどまる									
2	神奈川	25	2	2	5	・11/13 子安小学校（新子安駅近郊）防災訓練に3名が参加、その場で無線機の動作確認を実施した。 ・中丸小学校（片倉町近郊）防災訓練に2名が参加し、その場で無線機の動作確認を実施した。 ・11/13 神奈川区役所の無線設備の動作確認を1名で行い、問題がないことを確認した。 ・各拠点における無線機用バッテリー交換作業を実施のため、区役所では計画的に対応している。（拠点に予算割り振り、支払い済み） ・非通協への依頼が少ない理由は、拠点防災訓練は、拠点単位ではなく各自治会単位で対応しているためとのこと。									
3	西	12	0	0	0	2021年はコロナの影響で活動をしていません。									
4	中	15	1	27	248	1. 毎月第一日曜日20:30から145.20MHzにて月例通信訓練を実施。12回延べ157局が参加。また、関東近県で地震発生時は臨時の通信訓練を実施、13回延べ70局が参加。 2. R3.6.27 支部年次総会は、コロナ禍を勘案し前年同様のオンエア総会とした。支部会計の健全化を図るため、総会決議で年会費5000円の徴収を復活した。 3. R3.9.1 中区役所からマリンFM(86.10MHz)への災害時緊急割り込み放送訓練に参加。同時に中区役所局JR1YWGを開局し支部員各局（10局）との通信訓練を実施。 4. R4.1.17 中区役所からの文書要請で、中区役所～福祉避難所間の情報受伝達訓練に参加。JR1YWG局開設、支部員（11局）の各所巡回・配置でデジ簡の現地指導を行った。 5. 支部役員の変更なし。支部員数は前年度より5名増の26名となった。									
5	南	25	1	10	10	ここ1年間は、新型コロナの影響で満足な活動が出来ない状況でした。 ① 11月27日の永田中学校+南区役所での地域防災拠点通信訓練一カ所のみでした。 ② 毎月第1日曜日の20:00からのオンエアミーティングを実施しており、毎回10局前後の参加です。（延べ年間100局以上の参加） ③ 2022年3月20日Zoomにて、ワライ支部総会を開催。支部役員改選（旧役員の引続きを承認） ④ 2022年は、後援クラブ（JG1ZWE）と供にアマチュア無線連盟（JARL）主催の催しへの積極的な参加を予定。 以上、複数人での会合が難しい1年間であった為、支部活動もままならない状況となってしまいました。									
6	港南	31	6	5	35	【区役所との協働活動】 ① 地域防災訓練（9月から11月） 港南支部が参加した訓練は6拠点で小規模に行われた その他の拠点では運営委員会の訓練が開かれた 内、一拠点については支部理事宅を移動区役所局として訓練を実施した。（区役所の情報交換が課題） 【支部事業】 ① 支部総会を新型コロナ感染症対策対応上書面による総会とした。 【支部員数】 132名、 【入退会】 入会 2名 退会 1名									
7	保土ヶ谷	27	1	1	8	・再スタートした支部であるがコロナ禍により会合等開催なし。10月24日に総会の開催ができた。（区⇒1名、会員⇒9名参加）役員選出と規約制定した。 規約は本部規約を準用したものが後日、解釈トラブルが発生し現在支部活動混乱状態に陥っている。 ・防災訓練の参加 地域指定避難所（川島小学校）にて（11/14） 8名参加 ・3/31現在の会員名簿を本部に提出（4/1） ・災害対策連絡協議会総会資料を会員に周知 ・アマチュア非常通信ボランティア募集広告掲出依頼（5/14区役所総務課訪庁）をした。今年度2名新規入会である。 ・区役所無線機不具合対しての修理依頼（11/15区役所総務課訪庁） ・電波伝搬調査は中止となった。									
8	旭	37	21	21	82	1. 規模・概要 ① 統制局：JR1YWK（旭区役所クラブ） JQ1ZJI（第二旭区役所クラブ） ② 防災拠点無線局： 37局／37拠点 開局済み ③ 連携社团局： JQ1ZJB（旭区SVRクラブ）、 JQ1YSR（あさひ無線愛好会） ④ 支部会員： 総数124名（退会0名） 令和4年3月31日時点 2. 防災訓練（拠点・連合自治会）とYWK活動 本年度は、新型コロナウイルスの影響で多くの拠点で訓練が中止又は機材点検のみとなりました。 ① 防災訓練及び無線機材点検実施 13日間、延べ21会場、訓練参加支部会員数、延べ82名 21拠点局無線機点検実施 ② 区役所局運用（JR1YWK 庁舎： 5日 JQ1ZJI移動：8日） ③ 支部役員会（不定期） 8月21日、11月27日、1月9日、3月13日（全てZoom会議） ④ 5月16日 支部定期総会（COVID-19によりメール、ZOOM併用による総会を実施） ⑤ 5月24日 本部総会（書面開催。提示された2020年度事業報告、会計報告、2021年度事業計画（案）、予算（案）に旭区支部として賛成票を投じた） ⑥ 支部長会は、COVID-19により実施されず。本部の要請により「旭区支部の近況報告」提出。 ⑦ 市役所～区役所間電波伝搬試験は、COVID-19により実施されず ⑧ ロールコール 毎月第二土曜日 438.08MHz 午前6:30～ ⑨ YWKホームページの運用 3. 地域とYWK活動 ① COVID-19のため恒例のYWK/YSR合同BBQ大会は実施せず。 ② 12月5日、ZoomによりYWKリモート忘年会を実施 4. 特記事項 ① 拠点局無線免許有効期限満了に伴う再免許手続き 6局 ② 旧左近山小高小学校拠点を左近山中学校拠点に変更									

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2021年度支部活動報告（2022年5月22日総会用）

支部名		実施した通信訓練の概要(右参照)				その他活動・報告事項など
		(A)	(B)	(C)	(D)	
		(A)	(B)	(C)	(D)	
9	磯子	21	2	13	178	<p>・「地域防災拠点」訓練のほか「連合地域の防災訓練」「出動体勢訓練」「訓練時の自宅周辺被害報告訓練」診療所・薬局の「幟旗掲出確認報告訓練」等を行っている。</p> <p>しかし、昨年度と同様に、新型コロナウイルス禍でほとんどの拠点訓練が中止となったため、参加の数字は昨年度と同様に例年より大きく減少した。</p> <p>その他「各種イベント」等への参加を合わせれば、１００回、述べ８９１人が参加した。</p> <p>・地域防災拠点訓練は、２か所のみで１３人が参加した。</p> <p>・上記の内「出動態勢訓練」は横浜市のどこかで震度３以上の地震があれば、昼夜を問わず地震発生から３０分間を訓練として、被害状況報告を無線で収集し、区役所へ報告する訓練であるが、今期は対象地震の発生が１０回あり、延べ１３８人が参加した。この訓練は２００５年から行っており通算では１３０回実施、延べ１３３８人が参加している。</p> <p>・「幟旗掲出確認報告訓練」は始めてから３年目であり参加者は２７人だったが、全２４０機関を約１．５時間で漏れなく確認し区役所の福祉保健課へ伝えた。</p> <p>・そのたの参加イベントとして「防災パネル展」に５人が参加。</p> <p>例年参加していた「防災ギャザリング」恒例の「磯子祭り」「防災スマイリングフェア」「FDコンテスト」等は、新型コロナウイルスで中止となった。</p> <p>・毎月第１土曜日２０～２１時に、ロールコールを実施し、情報の共有と親交を深めており、令和３年度は１２回で延べ２２２人が参加した。その他に、毎週の「オンエアミーティング」を４９回２６３人の参加が参加した。</p> <p>・趣味のアマチュア無線クラブ「JARL横浜磯子クラブ」と共催で楽しいミーティングも隔月に実施し、５回８５人が参加、また、月２回の無線技術を学ぶ「木曜勉強会」を２０回１０８人が参加など、防災の勉強をしながら親交を深め会員募集などを推進している。</p> <p>・アマチュア無線による情報伝達のほか、特に避難所拠点へ来る前の地域の連絡手段として特定小電力トランシーバの普及に力を入れているが、今年度は機会がなかった。</p> <p>・会員の増減は、令和３年度末時点で、逝去・高齢の退会もあり減少し９８人となっている。</p>
10	金沢	26	6	5	9	<p>1)地震発生時の状況報告(市内で震度3以上の地震が観測された場合、無線を通じて状況を報告しあう。支部の自主活動) 9回実施、延べ79局参加。結果を区役所へ毎回メールで報告。</p> <p>2)地域防災拠点運営委員会・防災訓練に参加(後半は感染防止のため防災訓練を中止する拠点多かった)</p> <p>①地域防災拠点運営委員会参加実績 参加7拠点・参加回数12回・延べ参加会員数15人</p> <p>②地域防災拠点防災訓練参加実績 参加6拠点・参加回数5回・延べ参加会員数9人</p> <p>3)定例オンエアミーティング・災害想定訓練</p> <p>①定例オンエアミーティング 毎月第一土曜 21:00～ 実施。</p> <p>②災害想定訓練 6月・9月・12月・3月の定例オンエアミーティング開始前に実施。</p> <p>4)金沢まつり いきいきフェスタは中止のため、展示参加は実施せず。</p> <p>5)金沢区役所との連絡会を8月と3月に実施。</p>
11	港北	29	12	12	56	<p>・2021年度港北区支部総会</p> <p>2021/4 感染症拡大防止の為集会中止、報告と計画の承認を往復はがきとメールにより実施</p> <p>・地域防災拠点受伝達訓練</p> <p>2021年度は感染症対策影響にて29拠点中12拠点のみ実施</p> <p>(港北区の地域防災拠点は本年度より箕輪小学校が新たに加わり29拠点となり箕輪小は訓練実施)</p> <p>・区役所との協定書改訂</p> <p>2021/11 従来の協定内容が現況にそぐわないため、災害時及び訓練における区と港北区支部の役割明確化を主眼に協定書を改訂</p> <p>区は無線機材の維持管理、港北区支部は区からの要請に基づく無線通信を行う</p> <p>・港北区医師会との連携</p> <p>2021/12/19 港北区医師会実施の医療救護隊訓練にて港北区役所局を運用、救護隊及び参集拠点と区本部間の通信訓練を実施</p> <p>・ロールコール</p> <p>2021/4～2022/3 各月2回計24回、通算272回連続実施</p>
12	緑	21	2	2	9	<p>【総会関連】</p> <p>・4月8日～5月13日 支部総会(書類による開催)</p> <p>【行政との調整】</p> <p>・4月16日 緑区防災ネットワーク運営委員会に支部長が参加(書類等による開催)</p> <p>・8月10日～1月6日 地域防災拠点(小規模)訓練時の通信訓練日程・要員調整(メール)</p> <p>・3月28日 令和3年度活動状況および会員状況を報告(メール)</p> <p>【訓練活動等】</p> <p>・定例ロールコールを実施(月2回 計24回)</p> <p>・地域防災拠点訓練 10月30日、11月21日 2拠点で実施、その他19拠点はコロナ緊急事態のため中止</p> <p>【広報活動】</p> <p>・5月21日 緑区地域防災拠点運営委員会連絡協議会(書類による開催)へ当会紹介資料提出</p> <p>【研修活動】</p> <p>・3月12日 緑区防災講演会(YouTube開催)に会員多数参加</p> <p>緑区区民まつり、四季の森公園スマイリングフェアは新型コロナの影響により中止となりました</p>
13	青葉	41	12	19	146	<p>2022年3月31日現在の会員数:74名(←前年67名←前々年62名)</p> <p>・地域防災拠点訓練はコロナ禍でもあったが、12拠点19回の訓練を実施。参加局のべ146局(昨年度128局)</p> <p>・地震発生時に青葉区基幹周波数で安否確認・周辺情報収集訓練を実施。33回(前年20回)の対応実施で延べ参加数251局(前年202局)。</p> <p>・OAM(毎週土曜日夜21`21:30)51回実施、延べ1307局(前年846局)参加、平均参加局数25.1局 年間1度以上参加した局の比率63% 46局。</p> <p>・横浜青葉メディカル無線クラブ(JQ1YVN:四師会:医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会)との連携、合同OAM実施。</p> <p>・支部定例会を8回実施延べ154局参加。今年度も全てZoom開催。支部の問題や区・医師会との連携訓練、空白拠点の支部員増強などを議論した。</p> <p>・青葉区地域防災拠点委員長会議(6月、書面決議)に協力会活動方向資料添付PPT13枚。ビデオを作成横浜市のyoutubeチャンネルに掲載。</p> <p>・青葉区支部オリジナル支部員募集ポスターを1000部印刷。区役所、地区センター、自治会掲示板に掲載。3ヶ月で5人の入会。FMサールス防災コーナーに支部長出演。</p> <p>・青葉区災害時医療検討委員会に主要メンバーとして継続参加。10回開催。</p> <p>・2006年度スタートした地域定点診療拠点に対応する医療四師会との合同訓練中止。青葉区災害時医療拠点通信訓練コロナのため中止。</p> <p>・昭和大学藤が丘病院訓練、青葉区民祭、防災フェスティバルなど区内の防災関連プログラムは全て中止。</p> <p>・2019年9月に青葉区の基幹周波数の変更を実施。本部とも調整の上、変更した438.34MHzは若干不法局と思われる混信があるものの順調な移行が実施できている(他に145.34、1295.34MHz)</p>
14	都筑	27	6	6	24	<p>・27拠点のうち6拠点で通信訓練(情報受伝達訓練)を実施し、他は中止もしくは通信訓練中止となった。</p> <p>・区役所の防災関係会議(地域防災拠点運営委員会連絡協議会)は書面開催となった。</p> <p>・区役所予算で27拠点に配備している無線機の更新は2年目分(9台)が納品された。</p> <p>・支部総会は書面開催とし、会員相互の交流の場としてオンラインによる忘年会を開催した。</p> <p>・会員募集チラシを区役所及び区社協に配架した。</p> <p>・毎月2回、ロールコールを実施した。430MHzFMのほか、SSTV受信訓練、1200MHzFMなどを行った。</p> <p>・データ共有ツールとして「キントーン」の使用を開始した。おおむね50人が登録済である。</p> <p>・地震発生時の初動訓練を随時行った。</p>

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2021年度支部活動報告（2022年5月22日総会用）

支部名		実施した通信訓練の概要(右参照)								その他活動・報告事項など
						(A)	(B)	(C)	(D)	
		(A)	(B)	(C)	(D)	地域防災拠点数 (A)	(A) のうち通信訓練実施の拠点数	のべ訓練回数	のべ動員人数 (区役所局含む)	
15	戸塚	35	9	35	381					<ul style="list-style-type: none">・全35地域防災拠点中9拠点で無線通信訓練を要請され実施した。参加者総数41名。・メンバー局の設備確認と非常時通信の訓練を目的としたロールコールを毎月第1および第3日曜日に実施。実施回数24回、参加者総数322名。・震度4以上の地震の観測報道があった場合に、本支部では発災時の初動通信の訓練を実施することとしており、2021年10月7日および2022年3月16日に発生した地震にて訓練を実施し、計18名が参加した。
16	栄	20	1	23	217					<ul style="list-style-type: none">・市内最大震度3以上の地震発生時に出勤態勢訓練を実施。1回につき30分程度、年度内10回、延べ参加局数96・通信訓練、無線設備点検、通信パス確認を兼ねた月例オンエアミーティングを12回実施。延べ参加局数104・5月：栄区内電波伝搬調査。区役所局/24福祉避難所間の通信パスを確認。巡回支援を想定して移動局はすべてハンディ+付属ホイップアンテナで対応、結果は全施設とも良好であった。参加局数17・5月：非常通信協力会本部総会。(メールにより実施)・9月：発災時初動終了後の巡回支援を従前の地域防災拠点に加えて福祉避難所も対象とするよう支部対応方針を改訂・12月：新入会員に対応し社团局の無線従事者選任届を総通に提出・2月：区役所局無線設備点検を実施、144/430/1200MHzの3バンドにおいて無線機・アンテナとも良好に稼働することを確認・3月：COVID-19感染拡大防止の観点からメールによる支部年度総会を開催。参加人数24・3月：退会者発生ならびに支部役員改選により社团局の無線従事者解任届、理事変更届を総通に提出・栄区支部内の会員QTHロケーションマップを随時更新し会員及び区役所へ配布・広報活動として支部HPを継続的に運用。累積アクセス数23,000超・年度内新入会員数1、退会者数1、現支部会員総数31
17	泉	23	1	1	9					<ul style="list-style-type: none">・支部総会(書面による総会を実施)・拠点運営委員会総会に出席・泉区防災連絡協議会総会に出席・泉区防災フェアに参加し、災害時における非常通信協力会の役割など広報・防災訓練に参加(1拠点のみでした)・備蓄倉庫に保管している通信設備の点検を実施・デジタル簡易無線を導入する、拠点、自治会町内会に取り扱い説明会など実施・月例ロールコール(延べ243局)・市内震度3以上が5回あり、直後の通信訓練を実施し参加延べ64局が参加・会員名簿の見直しを実施
18	瀬谷	15	0	0	0					コロナ対策のため、特に活動は行わなかった。

この報告に関する問い合わせ先：支部長会担当・山岸 純 メールアドレス XXXXXXXXXX@xxxxxxxxxx.jp